

## 四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度までの取組状況

## 基本目標 1

## 果敢に挑戦し、新時代に飛躍する産業のまち

目標に対する進捗評価		進捗評価の説明
評価	B	数値目標の達成率は低いものの、新型コロナを踏まえて目標達成に向けた工夫を行っていることや、産業界におけるAI・IoTの活用促進やスマート化への取組みを進めていることなどから、「ある程度進んだ」と判断した。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

数値目標	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年末)	達成率
製造品出荷額等 (全国都市順位)	2兆5,735億円(13位) (平成28年度)	2兆8,703億円(10位) (令和2年度)	3兆3,562億円	85.5%

## 基本的方向 1

## 日本を代表する産業都市として、新たな企業立地や活発な投資を促進する

## 【具体的施策】

## 1. 企業立地や投資の促進

施策No.1-1-1	
手続き・相談・情報提供等のワンストップサービスの充実	
市役所庁内各課、大学・研究機関、金融機関、地元企業と連携し、企業が立地までに必要とする、手続き・相談・情報提供等のワンストップサービスを充実し、本市の土地利用計画と整合をとった新たな企業立地を促進します。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
【取組概要と成果】 企業の新規立地や設備投資の案件に対しては、工業振興課がワンストップサービスの窓口として対応するとともに、法令手続きの多い消防・環境分野に詳しい職員を配置することでより専門性の高い内容への相談対応も実施している。	
【今後の取組方向】 今後も企業立地が促進されるよう、他機関との連携も深めることによる立地に関する情報提供も含めたワンストップサービスの充実を図っていく。	
【担当課】 商工農水部工業振興課	

<b>施策No.1-1-2</b>	
<b>企業立地に必要な環境整備</b>	
工場立地法にかかる緑地面積率の緩和や敷地外緑地制度の構築など、立地に必要な環境を整備し、企業の投資を促進します。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
【取組概要と成果】	四日市市工場立地法市準則条例を施行し、工場立地法に規定されている工業地域・工業専用地域の緑地面積率を令和2年に10%以上へ緩和しており、企業の投資を促進している。
【今後の取組方向】	今後も環境保全とともに企業の投資が促進されるよう、立地企業からの意見聴取を行いながら、必要な環境整備に努めていく。
【担当課】	商工農水部工業振興課

<b>施策No.1-1-3</b>	
<b>企業立地奨励交付金や民間研究所立地奨励金の見直し・拡充</b>	
企業立地奨励交付金や民間研究所立地奨励金について、AI、IoT等を導入するスマート化事業等を新たに対象事業に追加するとともに、次世代のものづくりに関する分野（次世代電池、次世代半導体、次世代モビリティなど）、事業の効率化を図る分野（物流倉庫の集約化）、脱炭素化を促進する分野（水素等の新原料・新燃料への転換）等を重点分野とするなど、時代に対応した重点分野や対象事業の見直し・拡充を行い、企業の投資を促進します。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
【取組概要と成果】	令和2年度に企業立地奨励金と民間研究所立地奨励金の対象にAI、IoT等を導入するスマート化事業を新たに加えるとともに、水素等の新燃料への転換事業等を重点分野に位置づける制度改正を行った。
【今後の取組方向】	企業立地奨励金や民間研究所立地奨励金については、今後も時代に対応した重点分野や対象事業の見直し・拡充を行うことで、競争力の高い企業の誘致や既存企業の投資を促進する。
【担当課】	商工農水部工業振興課

<b>施策No.1-1-4</b>	
<b>IT関連企業への支援</b>	
本市のものづくり産業との連携など産業の活性化も期待できる、AI、IoT、ビッグデータを活用するIT関連企業の集積を目指し、企業に対し、オフィス開設経費及び入居料等の一部補助などの支援を行います。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手

<p><b>【取組概要と成果】</b> AI、IoT、ビッグデータを活用するIT関連企業への支援を行うIT企業等進出支援事業補助金を設置し、IT関連企業の誘致を図っている。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b> 不動産事業者へのヒアリングを行うなど情報収集に努めるとともに、IT企業等進出支援事業補助金の活用とともに、IT関連企業に対し、本市への進出にかかる魅力発信活動を行うなどの誘致活動を行っていく。</p>
<p><b>【担当課】</b> 商工農水部工業振興課</p>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
企業立地奨励金指定事業の指定件数	91件 (平成21～30年度)	16件 (令和2～4年度)	50件 (令和2～6年度)	32%

## 基本的方向2

AI、IoT等の新技術を活用できる人材を育成し、ものづくり産業の生産性を向上させる

### 【具体的施策】

#### 1. AI、IoT等の新技術の活用、人材育成と産業のスマート化促進

<p><b>施策No.1-2-1</b></p>
<p><b>製造業における課題解決や業務効率化支援</b></p>
<p>製造業における人手不足などの課題解決や業務効率化を図るため、AI、IoT、ビッグデータの導入事例の紹介や利活用に関する研修を実施します。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b> コンビナート企業が参画する「四日市コンビナート先進化検討会」において、プラントにおけるAI、IoT等の新技術の導入事例の紹介についてホームページなどを活用し、行うとともに、令和3年から市の事業として「高度IT人材育成講座（業務効率化アプリ作成入門講座）」を開催し、AI、IoT等の新技術の活用等の第4次産業革命に対応した市民及び市内企業におけるIT人材の育成に取り組んだ。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b> 今後もAI、IoT等の新技術を活用できる人材育成のための研修や新技術の導入事例の横展開により、市内製造業における人手不足などの課題解決や業務効率化を促進していく。</p>
<p><b>【担当課】</b> 商工農水部工業振興課</p>

<b>施策No.1-2-2</b>
<b>AI、IoT等を導入した工場のスマート化への支援</b>
AI、IoT等を導入し、工場のスマート化に取り組むコンビナート企業や中小企業、市内製造業に対する支援を行います。
【実施状況】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手
【取組概要と成果】 企業立地奨励金制度の対象にAI、IoT等を導入するスマート化事業を新たに加えるとともに、中小企業IoT等活用促進事業補助金において、令和2年以降、IoT関連への補助は4件実施しており、中小製造業者のAI、IoT等活用に対する支援を行っている。
【今後の取組方向】 今後も既存の制度を活用してAI、IoT等を導入し、工場のスマート化に取り組む市内企業への支援を行うとともに、「四日市コンビナート先進化検討会」や「四日市市企業OB人材センター」の活動を通じてデジタル関連の情報提供や現場での支援を行うなど、資金面以外の支援も促進していく。
【担当課】 商工農水部工業振興課

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
プラント運転・保安デジタル技術人材育成講座参加者数	30名 (令和元年度)	550名 (令和2～4年度)	150名 (令和2～6年度)	366.7%

※基準値・目標値は集合形式での講座開催を想定していたが、コロナ禍を受け、令和4年度からオンライン併用形式で開催している。

### 基本的方向3

**経営感覚に優れた農業者を育成し、「儲かる農業」を実現する**

#### **【具体的施策】**

#### 1. 農業のビジネス化

<b>施策No.1-3-1</b>
<b>GAP、HACCPなどの管理手法導入による、経営の安定化支援</b>
GAP、HACCPなどの管理手法の導入を奨励し、生産物の品質向上や経営コストの削減など農業経営の改善をすすめ、経営の安定化を図ります。
【実施状況】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手
【取組概要と成果】 認定農業者や農業生産組織等を対象に、農産物の販路拡大や農業経営力・競争力の向上を

図ることを目的として、GAP等の認証取得にかかる経費の一部を助成した。

**【今後の取組方向】**

引き続きGAP等の認証取得にかかる経費の一部を助成するほか、農業センターにてGAP普及推進セミナーを開催するなどして、GAP等の認証取得を普及推進していく。

**【担当課】** 商工農水部農水振興課

**施策No.1-3-2**

**異業種交流による新たな販路の確保支援**

多様な産業が展開する本市の特性を生かし、異業種交流の機会を設け、商農工連携など新たな販路の確保を図ります。

**【実施状況】** 事業実施中 ・ **未着手**

**【取組概要と成果】**

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。

**【今後の取組方向】**

農水畜産業、商業、工業の異業種が連携して、市内産の農畜産物と企業の加工技術、販売のノウハウ等を有効に結びつけ、新たな商品、サービス、販路等を創出するための交流会を開催する。

**【担当課】** 商工農水部農水振興課

**施策No.1-3-3**

**地産地消の推進による農業振興支援**

地元で生産される農水畜産物への理解を深め、地域内消費を進めることにより地域農業の振興を図るとともに、農作物の安定的な生産を図ります。

**【実施状況】** **事業実施中** ・ 未着手

**【取組概要と成果】**

学校給食における令和4年度の地元食材利用品目数は、令和3年度に比べ4品目増の22品目となった。また、地元の優れた農水畜産物を広く市民に周知する目的で例年開催している地産地消バスツアーや四日市農業まつりについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止した。

**【今後の取組方向】**

中学校給食の開始に伴い出荷奨励金を増額し、学校給食への地元食材の供給促進を図るほか、地産地消バスツアーや農業マルシェの開催を通じて、地産地消のさらなる推進を図る。

**【担当課】** 商工農水部農水振興課

**施策No.1-3-4**

**農業センターを活用した学びの場、実践の場の提供**

「儲かる農業・強い農業・新しい農業・生活の中にある農業」をコンセプトに、拠点施設である農業センターにおいて、自家農産物の高付加価値化、加工や商品化といった6次産業

化など、新たなビジネスチャンスの獲得に向け、各種研修会の開催や実践の場を提供します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

【取組概要と成果】

農業経営の多角化と農業のビジネス化の促進を図り、儲かる農業につなげるため、認定農業者等を対象に6次産業化セミナーを開催した。

【今後の取組方向】

新たに設置した農産物加工室を活用した6次産業化セミナーを開催するほか、専門家から自家農産物や加工品についてアドバイスを受けてブラッシュアップを図る契機となる相談会などを開催していく。

【担当課】 商工農水部農水振興課

【具体的施策】

2. ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用したスマート農業導入支援

施策No.1-4-1

ICTを活用した農作業の効率化・省力化による新規参入の促進

産地圃場内にセンサーを設置して栽培や気象状況のデータを集積し、生産管理データと気象データの連携により、地域に応じた栽培暦や防除暦を作成し、農作業の効率化・省力化による収益向上を図ります。また、情報を新規参入者にも提供することで、生産の早期安定化を図ることにより、新規参入を促進します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

【取組概要と成果】

定点観測用のWEBカメラを茶農家の茶畑に設置し、農業センターと茶業振興センターに設置済みの気象センサーとともに各種栽培に関するデータの収集・集積を行い、農作業の効率化・省力化や適切な病害虫の防除等に資する独自の栽培暦作成に向けて取り組んだ。

【今後の取組方向】

ハウストマト農家向けに定点観測用のWEBカメラ、気象センサー等を設置し、栽培暦の作成に取り組むとともに、データを活用した栽培手法の普及に努める。

【担当課】 商工農水部農水振興課

施策No.1-4-2

スマート農業導入促進環境整備

スマート農業の導入を促進するため、先端技術の導入に関する研修会やセミナーを開催するほか、相談体制を確立し、農業者と先端技術のマッチングを実施します。また、実証実験及び導入時における支援や助成を実施します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

【取組概要と成果】

ICT等の先端技術を活用した機械・施設の導入に支援を行い、農作業の効率化・省力化

の推進を図った。また、気象データに基づいた農作業の普及に向けて、日本梨の研修会等で周知を図る一方で、必要な機器の導入や茶の栽培暦の作成に向けて取り組んだ。

**【今後の取組方向】**

引き続きICT等の先端技術を活用した機械・施設の導入経費について支援するほか、気象データを活用した農作業の普及に向けて、各種栽培に関するデータの収集・集積を行い、研修会等を開催して推進を図っていく。

**【担当課】** 商工農水部農水振興課

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
地域で計画的に作付けや特産品づくりに取り組む集落数	— (平成30年度)	1件	15件	6.7%
農業産出額（農林水産省推計値）	86.9億円 (平成29年度)	58.1億円 (令和3年度)	88.2億円	65.9%

## 四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度までの取組状況

### 基本目標2

東海エリアの西の中核都市【核】として存在感と魅力にあふれ、人で賑わう「市」のまち

目標に対する進捗評価		進捗評価の説明
評価	C	新型コロナによる移動制限の影響を受けて数値目標の達成率が低いことから、「あまり進まなかった」と判断した。一方で、中心市街地再編の一環として近鉄四日市駅の駅前空間や中央通りの歩行空間等の整備を進めるとともに、賑わい創出社会実験など中心市街地における賑わいづくりに向けて取り組んでおり、目標達成に向け、引き続きこれらの取組みを推進していく。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

数値目標	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年末)	達成率
年間入込客数	805,511人 (平成30年度)	653,611人	900,000人	72.6%

### 基本的方向1

まちの良さを「来て・見て・感じて」もらうことで四日市ファンを増やす

#### 【具体的施策】

#### 1. 誘客につなげる四日市「ならでは」の多様な地域資源の活用

施策No.2-1-1		
観光資源を活用した魅力発信		
そらんぼ四日市、久留倍官衙遺跡、旧四郷村役場、定期市など本市の様々な資源の魅力発見企画を開催します。		
【実施状況】	事業実施中	・ 未着手
【取組概要と成果】		
令和3年に築100年を迎えた旧四郷村役場について、貴重な文化財として活用するため、令和3～4年度にかけて耐震補強及び修理工事を行った。工事中には、保存活用についての理解を促進するため工事現場見学会を実施し、市内外から多くの方に参加いただいた。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から来場者が訪れることができない期間を中心に、四日市スポーツランドのちびっこプールやセンターハウス、アスレチック等の修繕工事を行ったほか、リニューアル記念として「四日市STYLE in スポーツランド」を開催		



し、FM三重の公開生放送や劇団によるアクションショーなど、老若男女を問わず多くの来場者で賑わうイベントを開催することができた。

【今後の取組方向】

旧四郷村役場の館内を全面的に活用し、建造物の価値や本市の近代産業の歴史等を分かりやすく伝える展示整備を進める。他の資源についても、更なる活用を図るため、利便性向上や魅力の増進、安全性の向上を図るための施設整備に取り組むとともに、企画やイベントを通じて様々な魅力を市内外へ広く発信し、誘客促進や都市イメージの向上につなげていく。

【担当課】 シティプロモーション部観光交流課、文化課

施策No.2-1-2

港ならではの資源を活用した環境整備の促進

四日市港発祥の地である四日市地区について、中心市街地に近い利点を生かし、市民や来訪者が立ち寄って歩いて楽しめる憩いの場となるよう、歴史的・文化的資源や運河など港ならではの資源と景観を活用した魅力的な空間づくりや環境整備を促進します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

【取組概要と成果】

市も参画する「四日市みなとまちづくり協議会」において、令和3年11月に策定した「四日市みなとまちづくりプラン（基本構想）」に基づき、関係者の理解・協力を得て、令和4年10月初めてのイベントBAURAミーティングを開催した。

【今後の取組方向】

関係者、地元住民と連携し、イベントの開催や魅力発信によりみなとまちづくりの機運醸成を図る。また四日市港管理組合において、千歳運河沿いの物揚場について、景観に配慮した護岸改修を進める。加えて、それらの取組の中で出てきた課題解決に取組み、四日市地区への人流創出・活性化を図っていく。

【担当課】 政策推進部政策推進課

施策No.2-1-3

自然環境を活用したエコツーリズムの創出

本市の山や川、動植物などの豊かな自然環境を保全し、それを活用したエコツーリズムの創出に取り組むとともに、環境先進都市として市外へ情報発信を行います。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

【取組概要と成果】

市内の自然環境をまとめた冊子「よっかいちの自然」（全4集）を発刊した。その活用に向け、市内で環境活動に取り組むエコパートナーと連携し、映像と連動したVR動画を作成し、授業等での活用に向けた教育委員会との連携を進めている。

また、本市の貴重な砂浜海岸として地域団体等と連携して保全に取り組んでいる吉崎海岸の生物多様性価値等の再調査を行い、生物多様性が保全されている地域として令和5年度に自然共生サイトとしての認定申請を行っている。

さらに、市民が人と環境との関わりについて理解と認識を深め、良好な環境を目指し、環境に配慮した行動がとれるよう、環境学習事業を実施し、自然観察会や自然に親しむツアー

『ネイチャーウォークよっかいち』等を企画、開催した。
<b>【今後の取組方向】</b> 吉崎海岸における生物多様性価値の再調査の中で、絶滅危惧種等の希少生物も確認されていることから、自然環境の保全を図りつつも、その価値を活用した環境施策の構築と価値の発信を図る。 また、身近な市内の自然に親しむとともに、自然環境の保護の重要性に気付けるような自然観察会やグリーンツーリズムの講座を開催し、自然環境保全の取り組みを広く発信していく。
<b>【担当課】</b> 環境部環境政策課、四日市公害と環境未来館

<b>施策No.2-1-4</b>
<b>コンビナート夜景などの体験型コンテンツの充実</b>
四日市ファンを増やすため、ビジネスなどの来訪者に対して「夜も楽しめるまち」として飲食に加え、コンビナート夜景などの体験型コンテンツの充実を図ります。
<b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b> 一般社団法人四日市観光協会や四日市商工会議所と連携し、ビジネス客や観光客に向けて、本市のご当地グルメである「とんてき」を体験できるコース等を掲載したHP「ヨンナビ」を制作し、来訪者の利便性の向上とコンテンツの充実を図った。
<b>【今後の取組方向】</b> 宿泊客の8割近くを占めるビジネス客をターゲットとした観光コンテンツの造成や、ナイトタイムにおける滞在・周遊・消費を促進する企画を実施していく。
<b>【担当課】</b> シティプロモーション部観光交流課

<b>施策No.2-1-5</b>
<b>地域ブランドを用いた新たな四日市土産の創出</b>
本市を訪れる人に向けて、地場産品や特産品など地域ブランドを用いた新たな四日市土産を生み出し、販売する仕組みを構築します。
<b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b> 市内事業者のこだわりの商品を地域ブランド「泗水十貨店」として認定し、それら商品のPRや販売を通じて本市の魅力を効果的に発信するため、商品の選定や統一的なデザインによるパッケージの制作、販売店舗の検討・調整などを行った。
<b>【今後の取組方向】</b> 令和7年度の本格稼働を目指し、引き続き商品の選定や統一的なデザインによるパッケージの制作、販売店舗の検討・調整をするとともに、新たな四日市土産を生み出す仕組みづくりを進めていく。
<b>【担当課】</b> シティプロモーション部観光交流課

<b>施策No.2-1-6</b>		
<b>円滑な来訪者対応</b>		
国内外からの来訪客を円滑に案内できるよう、民間と協働し、四日市流の観光まちづくりを行う組織について検討を行います。		
<b>【実施状況】</b>	<b>事業実施中</b>	・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b> 観光まちづくりを担う中心的存在としての役割が期待されている四日市観光協会に対し、組織の発展に向けた支援を行い、令和3年4月1日から一般社団法人化するに至ったことで、観光まちづくりを担う組織として信用力が高まった。		
<b>【今後の取組方向】</b> 観光まちづくりを担う組織として、四日市観光協会の体制強化を図る必要があり、人材や財源の確保、中長期計画の策定などに向けて引き続き支援を行っていく。		
<b>【担当課】</b> シティプロモーション部観光交流課		

## 【具体的施策】

### 2. 多彩なイベント・競技の開催と地域の魅力の効果的な発信

<b>施策No.2-2-1</b>		
<b>ICT等を活用したイベントや競技の開催</b>		
若者が集い、生き生きとした賑わいのあるまちとなるよう、ICTなど最先端の技術を活用したイベントや競技を開催します。		
<b>【実施状況】</b>	<b>事業実施中</b>	・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b> 令和2年度において、AR技術を活用し、3Dのこにゅうどうくんと一緒に撮影できるInstagramフィルターを制作した。また、令和3年度は、無観客での配信イベント「四日市STYLE×ホリニック」やご当地キャラクターのオンラインイベントへのこにゅうどうくんの出演、SNSでの動画投稿などに取り組んだ。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントや競技を開催できない期間が続いたが、SNSやオンライン交流などデジタル技術を活用して、本市を訪れることができない方と関わりを持つことができた。		
<b>【今後の取組方向】</b> 今後は、デジタル技術を通じて交流できた方々にも本市を訪れてもらうことを目指し、若者世代が楽しさや新しさを体験できるような最先端の技術を活用したイベント等を開催することにより、交流人口の増加に資するよう取り組んでいく。		
<b>【担当課】</b> シティプロモーション部観光交流課		

<b>施策No.2-2-2</b>		
<b>ご当地キャラクターや音楽等の多彩なコンテンツを活用した交流人口の増加</b>		
ご当地キャラクターや音楽など多彩なコンテンツを活用した大規模なイベントを開催し、交流人口の増加を図るとともに、あらゆるメディアを通して全国に情報発信します。		

【実施状況】	事業実施中	・	未着手
【取組概要と成果】 令和3年度に制作したミュージックビデオ「SUNRIZE!43～こにゅうどうくんのテーマ～」の設定を展開させ、市内外の関係者・団体と連携し、新たに漫画の制作やラジオドラマの放送、ダンスと演劇を組み合わせた舞台公演に取り組んだ。			
【今後の取組方向】 ご当地キャラクターなど本市が有する資源やポテンシャルを最大限に活かしながら、関係団体や他部局と連携し、交流人口の増加を図るとともに、あらゆるメディアを通して本市の魅力を市内外へ広く情報発信していく。			
【担当課】 シティプロモーション部観光交流課			

<b>施策No.2-2-3</b>			
<b>シティプロモーションの土壌の醸成</b>			
新しく整備した様々な運動施設など、地域の魅力を効果的に発信しながら、ハーフマラソンなどのスポーツイベントと共に、競技会場全体をイベント会場とした多世代が集うイベントを開催します。また、イベントの際に地場産品を振る舞うなど、参加者をもてなし、シティプロモーションの土壌を醸成します。			
【実施状況】	事業実施中	・	未着手
【取組概要と成果】 シティプロモーション部において取り組んだ四日市サイクル・スポーツ・フェスティバルやコンビナート夜景ランフェスティバル、鉄道ロゲイニングなどのイベントにおいて、他部局や民間団体と連携しながら、地場産品のふるまいやグッズ販売など参加者へのおもてなしを行った。			
【今後の取組方向】 引き続き、全国から多くの方々が来場されるイベントにおいて、地場産品の販売やおもてなしをすることで、本市のPR及びシティプロモーションの土壌の醸成に努めていく。			
【担当課】 シティプロモーション部観光交流課			

<b>施策No.2-2-4</b>			
<b>AIを活用したイベント情報発信</b>			
AIを活用し、市内における民間、行政主催のイベント情報を網羅的にわかりやすく届けます。			
【実施状況】	事業実施中	・	未着手
【取組概要と成果】 市内で開催される多様なイベントを情報収集サイトに集約して、毎年度3,000件以上掲載し、市民のイベント開催の情報発信や情報収集を支援することができた。また、20代から40代の子育て世代の利用が半数を超え、当事業のターゲットを的確に捉えることができた。			

<p><b>【今後の取組方向】</b>          今後も、市主催のみならず、市内において開催される様々なイベントの情報を一元的に発信し、市民によるイベント開催の情報発信や情報収集を支援するとともに、子育て世代など、本市における交流人口や関係人口の増加を目指す。</p>
<p><b>【担当課】</b> シティプロモーション部観光交流課</p>

<p><b>施策No.2-2-5</b></p>
<p><b>移住につながる“選ばれるまち”の推進</b></p>
<p>女性の視点を生かして、四日市の魅力のPRを企画するとともに、暮らしを楽しめるまちというイメージを共有し、広く情報発信する仕組みを構築するとともに、移住につながる“選ばれるまち”を目指します。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b>          前年度に引き続き、インスタグラムを利用した情報発信を行ったほか、公式インフルエンサーを募集、選定し、4回の育成講座などを開催した。また、親子向けに動画作成講座を開催するとともに、キッズフォトコンテストを実施し、384件の投稿があった。フォロワー数も目標3,000人に対し、令和5年3月末現在で4,398人となった。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b>          市民が「四日市市＝暮らしを楽しめるまち」というイメージを共有できるよう、市民や本市を訪れた人自らが本市の魅力を広く情報発信していくことを目的とし、引き続き、公式インスタグラムアカウント（四日市スタイル）を情報発信手段として活用していく。          また、公式インフルエンサーによる積極的な情報発信を促すことで、本市の魅力が市内外で広く話題となり、評価され、まちへの帰属意識やシビックプライドが高まるといった好循環を生み出すような仕組みづくりを推進していく。</p>
<p><b>【担当課】</b> 政策推進部広報マーケティング課</p>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
四日市公害と環境未来館来観者数（来館者・講座参加者）	59,580人 (平成30年度)	38,216人	59,800人	63.9%
四日市港への来港者数	152,562人 (平成30年度)	112,988人	157,300人	71.8%
市のホームページアクセス件数	15,104,827件 (平成29年度)	26,798,938件	18,000,000件	148.9%
東京圏からの移住者に対する移住支援金交付件数	— (令和元年度)	5件	25件	20%

## 基本的方向 2

スーパーメガリージョンの中で、競争力を発揮する都市部の機能強化と公共交通環境を実現する

### 【具体的施策】

#### 1. 中心市街地の都市機能高次化

施策No.2-3-1	
駅前空間の整備	
にぎわい創出に向けた市の玄関口に相応しい駅前空間の整備に取り組みます。	
施策No.2-3-2	
交通結節機能強化	
駅前広場や歩行空間等の整備による交通結節機能強化を図ります。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
【取組概要と成果】	
<p>中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、近鉄四日市駅やJR四日市駅周辺等において、駅前広場や歩行空間等の整備に向けて、設計を進めるとともに、賑わい創出社会実験“はじまりのいち”の開催や、中央通り再編関係者調整会議や近鉄四日市駅バスターミナル検討部会を開催して関係者との調整を図り、基本計画の最終とりまとめ案を作成した。</p> <p>また、ECI方式で事業を進める近鉄四日市駅周辺では、優先交渉権者の協力を受けながら歩行者デッキ等の設計を進め、西浦通りから市民公園東までの先行整備区間の工事を進めた。</p>	
【今後の取組方向】	
<p>令和5年度からは、国によるバスタ整備工事が着手予定とされるとともに、本市の新たなシンボルとなる円形デッキの工事、国道1号から東側の道路工事、都市公園の工事に着手するなど、中央通り全線で本格的に工事を進めていく。あわせて、官民連携によるPark-PFI制度の活用やスマートシティの実装化に向けて取り組んでおり、引き続き、令和9年（2027年）の中央通り再編事業の完成を目指し進めていく。</p>	
【担当課】	都市整備部市街地整備課

施策No.2-3-3	
新たな技術を取り入れた交通手段の実現	
近鉄四日市駅－JR四日市駅間等において、新たな技術を取り入れた交通手段の実現に関係者とともに取り組みます。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
【取組概要と成果】	
<p>自動運転技術の導入に向けて、令和2年度より実証実験を進めており、令和4年度は、にぎわい創出社会実験“はじまりのいち”に合わせて“まちなかモビリティ”として、中央通り（近鉄四日市駅－JR四日市駅間）において、自動運転バス等の実証実験を実施した。</p>	

<p>【今後の取組方向】 中央通り再編に合わせた、新たな技術を取り入れた交通手段の実装に向けて、引き続き、取り組みを進めていく。</p>
<p>【担当課】 都市整備部都市計画課公共交通推進室</p>

<p><b>施策No.2-3-4</b></p>
<p><b>拠点施設立地など広域的な都市機能の集積</b></p>
<p>新図書館を中心とした複合的な機能をあわせ持つ拠点施設立地など広域的な都市機能を集積するとともに、再開発など民間投資の誘導を図ります。</p>
<p>【実施状況】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p>【取組概要と成果】 新図書館を含む複合施設の整備については、近鉄四日市駅直近エリアにおけるスターアイランド跡地を候補地として、地権者と協議を行った。令和4年度は、地権者と市が、お互いに基本計画の策定を進め、次のステップである基本設計を実施することに双方で合意に至ったことから令和5年3月31日付けで覚書を締結した。</p>
<p>【今後の取組方向】 令和5年度においては、近鉄グループとの協議を重ねつつ基本設計を進めている。今後、令和9年度中の整備完了を目指して、実施設計、工事を進めるとともに、新図書館の運営方法や必要な機能などについて、市民の意見も聞きながら検討を進める。</p>
<p>【担当課】 政策推進部政策推進課</p>

## 【具体的施策】

### 2. 次世代交通ネットワークの構築

<p><b>施策No.2-4-1</b></p>
<p><b>交通結節機能強化</b></p>
<p>中心部において近鉄四日市駅やJR四日市駅前の駅前広場や歩行空間等の整備による交通結節機能強化を図ります。</p>
<p>【実施状況】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p>【取組概要と成果】 中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、近鉄四日市駅やJR四日市駅周辺等において、駅前広場や歩行空間等の整備に向けて、設計を進めるとともに、賑わい創出社会実験“はじまりのいち”の開催や、中央通り再編関係者調整会議や近鉄四日市駅バスターミナル検討部会を開催して関係者との調整を図り、基本計画の最終とりまとめ案を作成した。 また、ECI方式で事業を進める近鉄四日市駅周辺では、優先交渉権者の協力を受けながら歩行者デッキ等の設計を進め、西浦通りから市民公園東までの先行整備区間の工事を進めた。</p>
<p>【今後の取組方向】 令和5年度からは、国によるバスタ整備工事が着手予定とされるとともに、本市の新たな</p>

シンボルとなる円形デッキの工事、国道1号から東側の道路工事、都市公園の工事に着手するなど、中央通り全線で本格的に工事を進めていく。あわせて、官民連携によるPark-PFI制度の活用やスマートシティの実装化に向けて取り組んでおり、引き続き、令和9年（2027年）の中央通り再編事業の完成を目指し進めていく。

【担当課】 都市整備部市街地整備課

#### 施策No.2-4-2

##### 公共交通と連携した交通拠点整備

郊外部において基幹的な公共交通へ快適に乗り換えできるような交通拠点の整備や、郊外型商業施設や市街化調整区域内の駅などを活用し、公共交通と連携した拠点化に取り組みます。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

##### 【取組概要と成果】

令和元年度に商業施設の駐車場内へ交通拠点の整備を行った。

##### 【今後の取組方向】

郊外型商業施設や市街化調整区域内の駅など、公共交通と連携した拠点化に望ましい候補地の選定を図る。

【担当課】 都市整備部都市計画課公共交通推進室

#### 施策No.2-4-3

##### 新たな技術を取り入れた交通手段の実現

近鉄四日市駅－JR四日市駅間等において、新たな技術を取り入れた交通手段の実現に関係者とともに取り組めます。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

##### 【取組概要と成果】

自動運転技術の導入に向けて、令和2年度より実証実験を進めており、令和4年度は、にぎわい創出社会実験“はじまりのいち”に合わせて“まちなかモビリティ”として、中央通り（近鉄四日市駅－JR四日市駅間）において、自動運転バス等の実証実験を実施した。

##### 【今後の取組方向】

中央通り再編に合わせた、新たな技術を取り入れた交通手段の実装にむけて、引き続き、取り組みを進めていく。

【担当課】 都市整備部都市計画課公共交通推進室

#### 施策No.2-4-4

##### 自動運転などの新技術の導入

端末交通への活用を視野に自動運転などの新技術の導入に取り組めます。



【実施状況】	事業実施中	・	未着手
【取組概要と成果】			
【今後の取組方向】 自動運転などの新技術を中心市街地での実装後、郊外部への展開を図る。			
【担当課】	都市整備部都市計画課公共交通推進室		

<b>施策No.2-4-5</b>			
<b>MaaSの推進</b>			
移動のニーズに応じ、多様な移動手段をサービスとして提供するMaaSへの対応を進めます。			
【実施状況】	事業実施中	・	未着手
【取組概要と成果】 四日市スマートリージョン・コア推進協議会のモビリティWGの中で、MaaSの導入に向けて検討した。			
【今後の取組方向】 令和5年度からスマートシティ実装化支援事業の中で、四日市版MaaSの構築を進めていく。			
【担当課】	都市整備部都市計画課公共交通推進室		

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
中心市街地（8地点）の歩行者流量	平日60,116人 休日58,406人 (平成30年)	平日52,090人 休日50,021人	平日60,500人 休日61,000人	平日86.1% 休日82.0%
基幹的公共交通の 徒歩圏人口カバー 率	62.8% (平成27年中)	— ※令和6年度に算 出予定	63.8%	—

## 四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度までの取組状況

### 基本目標3

誰もが安心して子育て・子育てでき、子育て世代から選ばれるまち

目標に対する進捗評価		進捗評価の説明
評価	B	合計特殊出生率については、目標値に対して基準値より実績値が下がっているものの、全国値1.30を上回っており、また、子育て家庭への経済的負担の軽減や育児相談、質の高い保育環境の提供など子育てを取り巻く様々な施策に取り組むことで、子育て環境の底上げを図っていることから、「ある程度進んだ」と判断した。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

数値目標	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年末)	達成率
合計特殊出生率	1.47 (平成29年度)	1.41 (令和3年度)	1.67	84.4%

### 基本的方向1

ライフステージ別に子育ての負担や不安を軽減し、子どもを産み育てたいと願う人の希望がかない、すべての子どもが健やかに成長できる社会を実現する

#### 【具体的施策】

#### 1. 子育て家庭の負担や不安の軽減

施策No.3-1-1	
妊娠前から子育て中のライフステージ別の経済的負担軽減	
不妊治療費助成の対象者拡大、妊婦や乳幼児の健康診査事業の充実、子ども医療費の窓口負担無料化の対象者拡大、経済的理由から就学が困難な高校生・大学生等への給付型奨学金の制度創設など、妊娠前から子育て中のライフステージ別に経済的負担を軽減します。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
【取組概要と成果】	
不妊治療費の助成については、令和3年度に所得制限を撤廃し、また、所得に応じて分けていた補助率についても一律とすることで対象者の拡大を図った。令和4年度には、不妊治療が保険適用化され、国の補助金等は廃止となったが、本市としては補助上限を見直し、継続することとした。	
子ども医療費助成については、令和2年9月から中学生まで窓口負担無料（小中学生は三	

泗区域)、所得制限を廃止し、令和3年度には窓口負担無料で受診できる医療機関を三泗地区から三重県内に拡大した。

妊婦乳幼児の健康診査事業については、令和3年度より妊婦及び幼児に対して歯科医療機関に委託して歯科健診事業を開始した。また、令和4年度より1か月児健康診査及び新生児聴覚スクリーニング検査の受診に要する費用の一部の助成を開始した。

また、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、経済的理由から修学が困難な高校生、大学生等を対象とした利用しやすい奨学金制度(1/2給付、1/2貸与)を令和4年度より開始した。

#### 【今後の取組方向】

不妊治療費助成については、保険適用後の状況を注視し、今後も助成対象や上限額など検討を続けていく。

子ども医療費助成については、更なる年齢拡大に対する影響の試算を行うなど、年齢拡大に向けて準備を進める。

妊婦乳幼児の健康診査事業については、妊娠届出の際に実施する面談時や、赤ちゃん訪問等の機会を通じて、受診啓発に努めることにより受診率の向上を図る。また、受診の結果、何らかの相談や支援が必要な場合には、個々の状況に応じて関係機関と情報共有しながら、適切な時期に対応していく。

奨学金制度を継続し、採用した奨学生に奨学金を支給する。また、貸与部分も返還時において市内に居住している場合は返還免除を行うこととし、卒業後の定住促進にもつなげていく。

【担当課】 こども未来部こども保健福祉課  
教育委員会教育総務課

### 施策No.3-1-2

#### 育児の負担軽減

子育て世代包括センターとして、妊娠期から乳幼児期まで継続した見守りを行う中で、育児不安の早期把握と早期対応に努めます。また、育児の悩みや不安を抱え込みやすい多胎児の保護者の孤立化を防ぎ、育児の負担を軽減するための取組を行います。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

#### 【取組概要と成果】

保健師や助産師などの専門職が全ての妊婦の状況を把握し、産後まで継続した相談支援を行う産前産後サポート事業を実施している。また、多胎育児支援として、親子ひろばの開催や、多胎妊婦健康診査費用補助事業、多胎児産後ケア事業などを実施した。

#### 【今後の取組方向】

産前産後サポート事業に加え、出産子育て応援事業を開始し、妊娠届出に基づいて全ての妊婦と面談することから始まる相談支援体制を充実させることにより、安心して出産を迎えるための適切な健診の受診や、個々に応じた子育て支援サービス等に関する情報提供を行い、妊娠期から途切れのない支援を実施する。

また、多胎児親子ひろばなどで当事者の声を聴きながら、多胎児育児に必要な支援の充実を図る。

【担当課】 こども未来部こども保健福祉課

<b>施策No.3-1-3</b>		
<b>子育てにおける不安や悩みの相談や児童虐待の対応・支援</b>		
<p>子育てにおける不安や悩みの相談や児童虐待の対応・支援を行うため、専門職を含む人員体制を構築することで、令和2年4月に、現在の家庭児童相談室をこども家庭課に拡充改組するとともに、「子ども家庭総合支援拠点」に位置づけて、調査、訪問等による継続的な支援や在宅支援を中心とするより専門的な相談支援を充実させます。</p>		
【実施状況】	事業実施中	・ 未着手
<p>【取組概要と成果】</p> <p>令和2年4月に家庭児童相談室をこども家庭課に改組し、専門職の増員を含めた相談体制を充実させた。また、「子ども家庭総合支援拠点」を設置して、児童虐待等の子どもの家庭問題に関する相談支援を実施した。</p>		
<p>【今後の取組方向】</p> <p>引き続き、児童虐待等の子どもの家庭問題に関する相談支援を実施していくとともに、児童福祉法改正により、令和6年度より努力義務となる「こども家庭センター」の設置に向けた組織体制を検討する。</p>		
【担当課】 こども未来部こども家庭課		

<b>施策No.3-1-4</b>		
<b>拠点的な施設の拡充検討</b>		
<p>全市的な施設であるこども子育て交流プラザといった子どもや親子が安心して活動や交流等ができる拠点的な施設の拡充も視野に入れた検討を行います。</p>		
【実施状況】	事業実施中	・ 未着手
<p>【取組概要と成果】</p> <p>笹川西小学校跡地及び笹川西公園の再編整備について、地元住民との調整に時間を要しており、同施設の整備予定位置等が定まっていないことから、基本計画の策定に至らなかった。</p>		
<p>【今後の取組方向】</p> <p>子どもや親子が安心して活動や交流等ができる拠点的な施設の拡充も視野に入れた検討を引き続き行う。</p>		
【担当課】 こども未来部こども未来課		

<b>施策No.3-1-5</b>		
<b>AIを活用したイベント情報発信</b>		
<p>AIを活用して、市内における民間、行政主催のイベント情報を子育て世代などに向けて網羅的にわかりやすく届けます。</p>		
【実施状況】	事業実施中	・ 未着手
【取組概要と成果】		

<p><b>【今後の取組方向】</b> AIを活用したイベント情報の発信について、その手法などについて情報収集を行う。また、本市の子育て支援アプリ「よかプリコ」の機能拡充による対応が可能であるか、アプリを提供する業者へのヒアリングも行う。</p>
<p><b>【担当課】</b> こども未来部こども未来課</p>

<p><b>施策No.3-1-6</b></p>
<p><b>警察・教育委員会・市が連携した、道路の安全対策</b></p>
<p>警察・教育委員会・市が連携し、通学や保育の園外活動に使う道路の安全対策を進めるとともに、歩行者・自転車など道路を使う全ての人々の安全性を高めるため、歩道の拡幅、路肩のカラー化、ゾーン30の取組などを行います。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b> 通学路や未就学児の移動経路における安全対策として、路面標示による注意喚起や防護支柱の設置などを行った。 各園において、散歩等の園外活動に使用する道路については、下見を行い、安全性を事前に確認を行っている。また、園周辺の道路で危険な箇所が発見された場合には、道路管理者や警察に報告・改善依頼を行い、園児に危険が及ぶことのない様に対応している。 また、関係機関が連携して通学路の安全確保に向けた取組を行うため、通学路交通安全推進会議を行い、通学路の交通安全確保に関する取り組み「通学路交通安全プログラム」の方針の実現に向けた取組を行っており、関係する各課で情報を共有し、対応を協議しながら安全対策を行うことができた。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b> 引き続き警察・教育委員会・市が協働し、通学路等の安全対策に向けた取り組みを進める。</p>
<p><b>【担当課】</b> こども未来部保育幼稚園課 教育委員会指導課 都市整備部道路維持課</p>

<p><b>施策No.3-1-7</b></p>
<p><b>地域防犯団体支援</b></p>
<p>防犯パトロールや見守り活動を行う地域防犯団体を支援します。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b> 地域防犯団体の活動への支援として、自主防犯団体30団体にパトロールに必要な防犯用具等の購入費用に対する補助を行った。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b> 安全安心なまちづくりに向けて、地域防犯団体との連携を図りながら、引き続き防犯活動に対する支援を行う。</p>
<p><b>【担当課】</b> 市民生活部市民協働安全課</p>

## 【具体的施策】

### 2. 子どもたちが充実した人生を歩むための基盤づくり

<b>施策No.3-2-1</b>		
<b>豊かな人間性の涵養</b>		
幼少期から質の高い芸術文化に触れる体験の機会を提供することで、音楽をはじめとした芸術文化に親しみ、豊かな人間性の涵養を図ります。		
<b>【実施状況】</b>	<b>事業実施中</b>	・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b>		
乳幼児とその保護者を対象に、プロの音楽家を招いて生の音楽を体験できる「はじめてのコンサート おんがくことはじめ」を毎年度継続して開催している。プロが演奏する生の音楽を間近で聞けることから、参加者の満足度は高く、今後も当事業の継続を期待する声が寄せられている。		
園児については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和2年度は中止、令和3年度は公立の4園での試行実施し、令和4年度はプロの音楽家による「管楽器」「打楽器」「弦楽器」などの演奏を各園にライブ配信する手法に変更し、事業を実施した。		
<b>【今後の取組方向】</b>		
引き続き、音楽の生演奏など様々な芸術体験を通じ、子どもたちの豊かな感性を育むことができるように取組みを進める。		
<b>【担当課】</b> こども未来部保育幼稚園課 シティプロモーション部文化課		

<b>施策No.3-2-2</b>		
<b>体験学習の充実</b>		
音楽家等が学校を訪問して交流した後に子どもたちを招待するホールコンサートの実施などを通じ、子どもたちが普段の授業とは異なる体験をすることで、将来に夢と希望を持つきっかけとします。		
<b>【実施状況】</b>	<b>事業実施中</b>	・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b>		
小中学校からの要望などに応じ、毎年度、プロの演奏家が学校を訪問し、一緒にリズム遊びや演奏体験を行う音楽交流事業を実施している。令和4年度からは新たに表現ワークショップと舞台発表を実施し、プレイベントと本公演に小学生が計46人参加して、自ら創作した芸術表現を体験した。参加した子どもとその保護者の満足度はいずれも高く、音楽家とのふれあいによる豊かな芸術体験が提供できた。		
<b>【今後の取組方向】</b>		
音楽交流事業及び表現ワークショップを引き続き実施するとともに、令和5年度からは子ども対象のホールコンサートも開催し、子どもたちが様々な芸術文化を体験できる場を提供していく。		
<b>【担当課】</b> シティプロモーション部文化課		

**施策No.3-2-3****気軽に楽しく体を動かす機会の提供**

アスリートが小中学校や幼稚園・保育園・こども園を訪問し、スポーツを取り入れた遊びにより運動する楽しさを教える訪問指導を実施するなど、気軽に楽しく体を動かす機会を提供することで運動に親しみをもつきっかけとするとともに、子どもたちがスポーツの基本的なプレーを体験し、上達する喜びを感じ、スポーツに親しむきっかけとします。

【実施状況】 **事業実施中** ・ 未着手

**【取組概要と成果】**

本市におけるスポーツ振興を軸とした元気なまちづくりを推進することを目的にホームタウン包括連携協定を締結しているプロチーム等が、市内の幼稚園や小中学校を訪問し、アスリートが講師となり、子どもたちに基本的なプレーの体験やスポーツを取り入れた遊びをさせることによって、子どもたちがスポーツに親しむ機会の充実を図った。

また、モーションセンサー等の測定機器により6種類のスポーツ能力を測定し、自分に適したスポーツ種目の判定やトレーニングの指導を行う「スポーツ能力測定会」などを開催し、子どもがスポーツを始めるためのきっかけを創出した。

**【今後の取組方向】**

ホームタウン包括連携協定チーム等と連携しながら、子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を知ってもらうことや、スポーツが身近にある環境づくりを進め、スポーツに親しむきっかけとなる機会を充実させていく。

【担当課】 こども未来部保育幼稚園課  
教育委員会指導課  
シティプロモーション部スポーツ課

**施策No.3-2-4****子どもたちのふるさとに対する誇りと愛着の育成**

令和2年度から開始する「四日市市新教育プログラム」の柱の一つである「四日市ならではの地域資源活用プログラム」の中で、四日市の歴史・文化・自然を活用した教育や、高度なものづくり産業と連携した教育、身近な素材から出発した社会参加につながる環境教育、地域企業との連携授業などを行い、子どもたちのふるさとに対する誇りと愛着を育みます。

【実施状況】 **事業実施中** ・ 未着手

**【取組概要と成果】**

「四日市公害と環境未来館」を見学し、四日市公害や環境改善の取組に重点を置いた学習を実施した。（令和4年度は、「そらんぼ四日市」が工事で休館したため、全小学校（37校）の見学は実施したが、全中学校22校の見学は中止とし、オリジナル動画や学習資料を配付、代替学習を実施した。）また、地元企業と連携した学習を実施（連携企業25企業、出前授業等実施企業14企業、実施校・小中16校 計23回）し、ふるさと四日市の高度なものづくり産業について多くの児童生徒に知ってもらう機会とした。

**【今後の取組方向】**

これまでの取組を継続し、四日市公害の歴史と教訓や環境改善のまちづくりに関する学習を進め、環境を大切にしようとする意識を高める。また、地元企業との連携も進め、今後も多くの学校で実施されるよう、近年実施のない学校への声かけするなどの取組を進める。

【担当課】 教育委員会指導課、教育支援課

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
子育て支援センターや子育て世代包括支援センターにおける相談件数	22,149件 (平成30年度)	21,560件	23,000件	93.7%
幼稚園・保育園・こども園への音楽家等の派遣	— (令和元年度)	全86園	全86園	100%
体験型コンサートや学校訪問事業、ホールコンサートの開催回数	— (令和元年度)	18回	12回	150%
小中学校・幼稚園・保育園・こども園へのアスリートの訪問指導件数	— (令和元年度)	9件	10件	90%

## 基本的方向 2

働き方改革と就学前教育・保育の充実により、子育てと仕事の両立を支援する

### 【具体的施策】

#### 1. 仕事と子育ての両立ができる職場環境の実現

<b>施策No.3-3-1</b>	
<b>仕事と子育ての両立を推進</b>	
仕事と子育ての両立を推進するため、各種休業制度の充実のほか、在宅勤務や育児短時間勤務など柔軟な就業ができるよう、就業規則の見直しや改善を支援するとともに、企業へ働きかけを行います。	
<b>施策No.3-3-2</b>	
<b>男女がともに働きやすい環境づくり</b>	
子どもの遊び場スペース設置など、男女がともに働きやすい環境づくりのための施設整備を行う企業に対して支援を行います。	
<b>【実施状況】</b>	事業実施中 ・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b>	
従業員が働きやすいよう、就業規則の改正や職場環境の整備を行う企業への補助など、市内中小企業における働きやすい職場づくりの支援を行った。	
<b>【今後の取組方向】</b>	
引き続き、働きやすい職場づくりの重要性について周知を図るとともに、市内中小企業へのソフト面での支援を行い、仕事と子育てが両立しやすい職場づくりを推進していく。	
<b>【担当課】</b> 商工農水部商業労政課	



<b>施策No.3-3-3</b>		
<b>男女が働きやすい職場作りの推奨</b>		
男女がいきいきと働き続けられる環境づくりを推進し、優れたワーク・ライフ・バランスの取組を行う企業を表彰する等、男女が働きやすい職場作りを推奨します。		
<b>【実施状況】</b>	<b>事業実施中</b>	・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b>		
<p>「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰を実施し、男女がいきいきと働き続けることができる環境づくりを推進している企業を表彰したほか、従業員が働きやすいよう職場環境の整備を行う企業への補助を行うなど、市内中小企業における働きやすい職場づくりの支援を行った。</p> <p>また、各企業でのワーク・ライフ・バランスの取組がより進められるように、企業向けワーク・ライフ・バランス出前講座を2020年度から2022年度末までに2回実施した。</p>		
<b>【今後の取組方向】</b>		
<p>引き続き、男女がいきいきと働き続けることができる環境づくりを推進している企業への表彰を実施し、受賞企業の取り組みについて周知を行うとともに、職場環境の整備を行う市内中小企業へのソフト、ハード面での支援を行い、男女がともに働きやすい職場づくりを推進する。</p> <p>また、企業向けワーク・ライフ・バランス出前講座についても、周知方法を工夫しながら出前講座数を増やしていく。</p>		
<b>【担当課】</b>	商工農水部商業労政課 市民生活部男女共同参画課	

### 【具体的施策】

## 2. 安心して子どもを預けることのできる環境整備と乳幼児期における質の高い保育の提供

<b>施策No.3-4-1</b>		
<b>保育園・幼稚園・こども園の適正な受け入れ枠の確保や多様な保育サービスの充実</b>		
子育て世代が安心して子どもを預けられる環境を確保するため、保育園・幼稚園・こども園の適正な受け入れ枠の確保や、保護者の多様なニーズに対応し、休日保育や病児保育など、多様な保育サービスの充実に図ります。		
<b>【実施状況】</b>	<b>事業実施中</b>	・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b>		
<p>共働き家庭の増加や働き方の多様化に伴い、保護者の保育ニーズも多様化している状況の中、令和4年度においては、かわしま保育園の増改築工事や日永ハートピア保育園の新築工事に対する補助を行い、保育環境及び提供体制の充実に図った。</p> <p>また、延長保育や一時保育、休日保育などの多様な保育サービスを実施する私立保育園・こども園との連携を図りながら、保護者が安心して子どもたちの保育を受けていただけるよう保育サービスの充実に努めた。</p>		

<p><b>【今後の取組方向】</b>          保護者の多様な保育ニーズに対応できるよう、引き続き私立保育園・こども園と連携を図りながら、保育サービスの充実に努める。</p>
<p><b>【担当課】</b> こども未来部保育幼稚園課</p>

<p><b>施策No.3-4-2</b></p>
<p><b>学童保育所の受け入れ枠拡大と運営支援、保育の質の向上</b></p>
<p>学童保育所について、子どもたちが安全・安心な環境で放課後を過ごすことができるよう、学校の校舎や敷地の積極的な利活用を図るとともに、利用者の増加に伴う受け入れ枠拡大への支援に取り組みます。</p> <p>また、持続可能で安定した運営基盤を整えるため、運営主体の負担軽減を図る方策を検討するとともに、人材の確保・研修体制の充実による保育の質の向上を図ります。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b>          地域の運営委員会が設置・運営する学童保育所に対して、施設の新設や増改築、職員の処遇改善費など必要となる経費に補助し、定員数の拡大に努めた。また、巡回・個別訪問により、個々の学童保育所が抱える保育面・運営面の課題や施設整備などの相談や指導を重ね、きめ細かな支援を行うことで、運営の負担軽減に努めた。</p> <p>高校生向け就職説明会に参加し、学童保育所の魅力や行政の支援施策を説明し、人材の確保に取り組んだ。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b>          各小学校区のニーズに合わせた児童の受入体制の整備が行えるよう支援を行うとともに、新設や移転に際し、学校の校舎や敷地、学校周辺の公共施設の利活用を積極的に進めることで、児童が安全・安心な環境で過ごせるよう努める。</p>
<p><b>【担当課】</b> こども未来部こども未来課</p>

<p><b>施策No.3-4-3</b></p>
<p><b>保育人材確保</b></p>
<p>三重大学等と連携した保育士や幼稚園教諭への研修を充実し、保育の質を向上させるとともに、保育士の処遇改善や市内保育所で働く意欲を持った学生への就学資金貸付などにより、保育人材を確保します。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b>          三重大学等と連携して、公立保育園9園で各園の課題に沿ったテーマを設定し園内研修を実施した。また、市内の公私立の幼稚園・こども園・保育園における教育・保育の更なる充実に努めるため、幼児教育センターの令和5年4月開設に向けた準備を進めた。</p> <p>人材の確保については、令和4年度から、保育士確保及び定着化に向けた方策の検討を目的に「保育士確保推進に向けた連携会議」を開催し、四日市私立保育連盟（私保連）からの選出者と協議や意見交換を行いながら、PRパンフレットや専用ホームページの作成、県内及び愛知県内の指定保育士養成校や市内高等学校の進路指導部への訪問、私保連主催の就職ガイダンスの経費補助等の取り組みを行った。</p>

**【今後の取組方向】**

幼児教育センターにおいて、研修体制の強化や専門アドバイザー派遣によるアウトリーチ型の支援を三重大学等と連携して行い、公立・私立を含めた市全体の幼児教育・保育の更なる充実を図る。また、各園で幼児教育共通カリキュラムに基づく教育活動を実施し、そこから得られた知見やノウハウを幼児教育センターにフィードバックし、保育者同士が共有・活用できる体制の構築を進める。

また、令和5年度から、勤続1年及び3年を経過した保育士に対して10万円を支給する就労奨励金事業を開始し、本市の保育人材の確保や定着を図る。

**【担当課】** こども未来部保育幼稚園課

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
男女がいきいきと働き続けられる企業表彰数	13社 (平成30年度)	19社	19社	100%
保育園・地域型保育事業施設等における低年齢児(0～2歳児)の園児数	2,246人 (平成30年度)	2,254人	2,450人	92.0%

**基本的方向3**

空き家や空き地の利活用促進、団地再生・公園再編など、都市の「空き」再活用により、子育て世代にも選ばれる緑豊かで良好な居住地を形成する

**【具体的施策】**

## 1. 都市の「空き」再活用による子育て世代の魅力増進

**施策No.3-5-1****市民への憩いの場の提供**

公共施設の活用転換に伴い発生した公共用地や民間の未利用地を利用し、賑わい創出につながる新たな公園を整備し、市民に憩いの場を提供します。

**施策No.3-5-2****高齢化が進む郊外住宅団地再生**

利用が見込めない小規模公園を廃止し宅地として売却を行い、子育て世代の定住を図ることで、高齢化が進む郊外住宅団地を多世代の住むまちへ再生します。

**施策No.3-5-3****既存ストックの有効活用**

空き家の建替えやリノベーションを促進するとともに、まちの『空き』を活用したみんなが使える公園の整備など、既存ストックの有効活用を図ります。

【実施状況】	事業実施中	・	未着手
【取組概要と成果】 坂部が丘団地において、高齢化の進む住宅団地の再生を図るため、公共用地や民間の未利用地を利用して、活性化につながる公共空間等の再編を進める。			
【今後の取組方向】 新設する公園の用地取得が完了し、低利用の既存小規模公園を廃止・縮小し、機能を集約する新設公園の整備に取り組む。			
【担当課】 都市整備部公園緑政課			

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
再編により整備した公園数	— (令和元年度)	0	2	0%
小規模公園廃止により新たに宅地として供給した面積	— (令和元年度)	0	6,000㎡	0%

## 四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度までの取組状況

### 基本目標4

いつまでも元気で活躍でき、暮らしの中で楽しみと幸せを実感できるまち

目標に対する進捗評価		進捗評価の説明
評価	A	数値目標においても、目標達成に向けて着実に進捗している。とりわけ、認知症の人にやさしいまちづくりについては、見守り支援のほか、早期発見・早期対応、家族への支援など、総合的な取組みを進めており、数値目標の達成率も高い。その他、新型コロナ対策を踏まえてDXを活用する等目標達成に向けた取組を実施していることから、「進んだ」と判断した。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

数値目標	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年末)	達成率
健康寿命	男性78.8歳 女性80.9歳 (平成29年度)	男性78.5歳 女性81.6歳 (令和3年度)	基準値以上	50%

### 基本的方向1

住み慣れた場所で、いつまでも元気で活躍できる健康なまちをつくる

#### 【具体的施策】

#### 1. 人生100年時代の健康寿命延伸

施策No.4-1-1		
楽しみながら自然に歩くことやからだを動かすことが体験できる環境づくり		
暮らしの中で、健康にかかわる情報にふれる機会を増やすとともに、スタンプラリーウォーキングや公園の路面標示など、楽しみながら自然に歩くことやからだを動かすことが体験できる環境づくりを進め、生活習慣病の予防、重症化予防を図ります。		
【実施状況】	事業実施中	・ 未着手
【取組概要と成果】		
「ARUKU vol.3」を健康ボランティアの協力を得て作成するとともに、日々の健康づくりの取り組みの成果を見える化して定着するように促す「四日市をARUKUマップ」第2弾を実施した。		
さらに、働く世代へのアプローチとして、ウォーキングアプリを活用した「企業対抗！		

四日市を「ARUKUンピック」を開催するなど、普段から健康づくりの機運を高めるように努めた。

このような取り組みにより、楽しみながら健康づくりに取り組み、習慣化するきっかけの提供につながった。

**【今後の取組方向】**

今後も健康ボランティアの養成や支援を行い、市民が身近な場所で健康づくりに取り組むことができる環境を整えていくとともに、働く場所でも健康づくりについて理解が深まるよう企業向けのイベントや講師の派遣などの支援も進めていく。

**【担当課】** 健康福祉部健康づくり課

**施策No.4-1-2**

**各種検診の受診率向上**

特定健診とがん検診の受診券を同時に送付するなど、各種検診の受診率を向上させる取組を行います。

**【実施状況】** 事業実施中 ・ 未着手

**【取組概要と成果】**

受診率を向上させる取組としては、がん検診についてパンフレットや通知のデザインの工夫、受診勧奨の強化や未受診者への再勧奨に取り組んだ。その結果、コロナの影響を受ける中、コロナ流行前の9割程度まで受診率の向上がみられた。

また、特定健診については、勧奨ハガキやコールセンターを活用するほか、かかりつけ医療機関を通じた受診勧奨の取組みやポスターの配布、掲示およびデジタルサイネージによる周知啓発を行った。その結果、コロナの影響を受ける中、コロナ流行前の9割以上まで受診率の向上がみられた。

なお、特定健診とがん検診の受診券の同時送付については、がん検診受診期間の延長について、コロナ対策や市民の利便性の向上、また医療機関からも継続の要望がある一方、国保との受診券同時送付は県全域でのシステム運用上齟齬が生じており、取組については困難な状況となっている。

**【今後の取組方向】**

特定健診とがん検診の受診券の同時発送は困難であることから、四日市市で受診率の低い大腸がん検診の受診率向上のため、国保加入の男性(40～69歳)を対象に、個別がん検診受診勧奨の実施、また未受診者への再勧奨を実施する。また、特定検診については、従来のハガキやコールセンターによる勧奨、ポスターなどの掲示を引き続き実施するとともに、デジタルサイネージを増やすことで更なる周知啓発を図ったり、新たにSMS（携帯電話などによるショートメッセージサービス）による受診勧奨を行うなどして、さらなる受診率の向上を目指す。

**【担当課】** 健康福祉部健康づくり課  
健康福祉部保険年金課

**施策No.4-1-3**

**スポーツ実施率向上や心身の健康増進**

スポーツ実施率向上や心身の健康増進を図るため、市内運動施設において運動・スポーツ

の習慣化につながるよう、民間事業者との連携も視野に入れたトレーナー等による運動・スポーツの相談ができるファミリー健康体力測定会やウォーキング大会事業などを実施します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

**【取組概要と成果】**

全世代を対象とした「ファミリー健康体力測定会」を実施するとともに、民間スポーツクラブにおいて体組成計測を行い、測定結果に適した運動やスポーツについて助言を行った。また、スポーツ推進委員と連携して、ニュースポーツを体験することができる市民スポーツフェスタやテニポン、ノルディックウォーキングなど種目毎の大会を開催し、運動・スポーツに親しみ、習慣化させることでスポーツ実施率向上や心身の健康増進につなげる取り組みを実施した。

南部丘陵公園でのイベント開催時に、公園内のコースを活用したウォーキングラリーを実施した。歩こう会など日頃から歩く習慣のある人以外にも、親子での参加もあり、幅広い世代の市民に対して楽しみながら体を動かすきっかけを提供することにつながった。

**（今後の取り組み方向）**

引き続き、スポーツ振興に向けた各種イベントや大会の開催、スポーツ推進委員と連携したニュースポーツの普及、総合型地域スポーツクラブをはじめとしたスポーツ関係団体が実施する事業の支援など、市民がスポーツに親しむ場の創出に努め、運動・スポーツの習慣化を図っていく。

【担当課】 シティプロモーション部スポーツ課  
健康福祉部健康づくり課

**施策No.4-1-4**

**市民の健康増進のための環境整備**

令和3年に開催される三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて整備の進む中央緑地にPark-PFIを活用して飲食店等を設置し、憩いの場を提供するとともに、ランニング・ウォーキング利用者に対応した便益施設を設置し、市民の健康増進のための環境整備を図ります。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

**【取組概要と成果】**

三重とこわか国体・とこわか大会に向け、約28.5haある中央緑地の再整備の一環として整備した四日市市総合体育館2階に1周320mのウォーキングコース、屋外のトリムコースにはゴムチップウレタン舗装を整備し、市民の健康増進のため、ランニング・ウォーキングを行うことができる施設整備を行った。

また、標示されたチェック模様を使って考えながらステップを踏むことで、楽しみながらウォーキングを実施することができるような路面標示を中央緑地公園内に3箇所設置した。路面標示の活用を進めるため、利用方法を説明するための看板の設置や、四日市市公式YouTubeでの動画公開を行い、子どもから大人まで幅広い世代の市民が楽しく歩くことができるよう努めた。

**【今後の取組方向】**

市民の健康増進のため、安心安全にランニング・ウォーキングを行えるよう、トリムコースのゴムチップウレタン舗装及び四日市市総合体育館の適切な維持管理に努めるとともに、

より多くの市民に活用してもらえよう、働きかけを行っていく。

【担当課】 シティプロモーション部スポーツ課  
健康福祉部健康づくり課

#### 施策No.4-1-5

##### 市民の食や農業への理解深耕

「かぶせ茶」をはじめとする、地元の優れた農水畜産物を広く市民に周知するとともに、農作物の栽培・収穫体験や調理体験など地元生産物を活用した体験の場を提供します。また、生産現場での市民と農家の交流の機会を増やし、市民の食や農業への理解を深めます。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

##### 【取組概要と成果】

農家や市民が実施する農業・食育体験の推進を図るため、経費の一部を支援した。また、食育の教材等として産地を紹介する動画や「かぶせ茶」のPR動画を作成したほか、プロスポーツのイベント等にて試飲用水出しかぶせ茶や一煎パックを配布し、本市の特産品である「かぶせ茶」の魅力の発信を図った。

##### 【今後の取組方向】

引き続き、農家や市民が実施する農業・食育体験について支援するほか、「かぶせ茶」の魅力の発信を図るため、かぶせ茶の入れ方&料理体験教室などを開催する。

【担当課】 商工農水部農水振興課

#### 施策No.4-1-6

##### 地産地消と市民の食育推進

農業センターを食育の拠点とし、中学校給食センターとの一体整備による効果を生かした学校給食などへの地元農水畜産物の利用拡大や生徒や保護者等による調理体験・栄養教室などを通じて、地産地消と市民の食育を推進します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

##### 【取組概要と成果】

令和4年度は施設整備中のため、施設供用開始後の令和5年度に実施する。

##### 【今後の取組方向】

農産物加工室等を利用した加工体験（調理体験）や農作物収穫体験会等のイベントに加え、学校給食センターと連携して地産地消・食育の推進を図っていく。

【担当課】 商工農水部農水振興課

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
スポーツ・運動を週1回以上実施した割合（実施率）	49.9% (平成28年度)	47.9% (令和2年度)	65.0%	73.7%



国民健康保険加入者の特定健診の受診率	48.8% (平成30年度)	44.9%(速報値)	60.0%	74.8%
大腸がん検診の受診率	7.3% (平成30年度)	6.5%	11.1%	58.6%

## 基本的方向 2

認知症など日常生活に困難を抱える人も、社会の一員として尊重され活躍できる地域共生社会の実現をめざす

### 【具体的施策】

#### 1. 地域包括ケアシステムによる地域共生社会の実現

<b>施策No.4-2-1</b>	
<b>多様な主体の参画により、対象者ごとに縦割りであったシステムを連携させ、包括的支援に向けた相談体制の強化</b>	
地域福祉の体制を強化するため、地域包括ケアシステムを土台として、多様な主体の参画により、対象者ごとに縦割りであったシステムを連携させ、包括的支援に向けた相談体制の強化を図ります。	
<b>【実施状況】</b>	事業実施中 ・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b> 令和5年度から重層的支援体制整備事業を実施し、包括的支援に向けた相談体制の強化を図った。	
<b>【今後の取組方向】</b> 重層的支援体制整備事業の周知及び充実を図り、包括的支援による地域共生社会の実現を目指す。	
<b>【担当課】</b> 健康福祉部福祉総務課	

<b>施策No.4-2-2</b>	
<b>地域の支えあいを担う人材育成</b>	
生活支援コーディネーターの体制充実による新たな人材発掘やマッチングの仕組みづくり、住民主体サービスの担い手など地域の支えあいを担う人材を育成します。	
<b>【実施状況】</b>	事業実施中 ・ 未着手
<b>【取組概要と成果】</b> 市社会福祉協議会に配置した生活支援コーディネーターと連携しながら、住民が生活支援・介護予防の担い手として主体的に活動できるよう支援するとともに、住民主体サービスを実施する団体に対して運営費の助成を行った。	

<p><b>【今後の取組方向】</b>          コロナ禍が落ち着き、活動の機運が高まりつつあることも踏まえ、生活支援コーディネーターと連携しながら、あらためて住民主体サービスの啓発を進めるとともに、地域の状況に合わせたきめ細かい支援を行い、地域の支えあいを担う人材の発掘や育成を進める。</p>
<p><b>【担当課】</b> 健康福祉部高齢福祉課</p>

<p><b>施策No.4-2-3</b></p>
<p><b>福祉サービスの担い手と連携したごみ収集システム構築</b></p>
<p>高齢化等の進展により、地域のごみ集積場に自力でごみ出しが困難な世帯を対象として、福祉サービスの担い手と連携したごみ収集システムを構築します。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b>          通常のごみの収集日程に限らず、訪問介護事業者が利用できるとともに、各地区市民センター（三重、橋北は未設置）及び本庁併せて計22箇所に設置し、高齢者等、自力でのごみ出しが困難な世帯を対象に、福祉サービスの担い手等と連携したごみの収集を実施した。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b>          福祉部局と連携し、訪問介護事業者等へ当該収集システムを周知するとともに利用団体数の拡充を図る。</p>
<p><b>【担当課】</b> 環境部環境事業課</p>

<p><b>施策No.4-2-4</b></p>
<p><b>市内の大学と連携して、高齢化が進む市営住宅の空き住戸に学生が入居し、高齢者の見守りや地域活動等への参画推進</b></p>
<p>市内の大学と連携して、高齢化が進む市営住宅の空き住戸に学生が入居し、高齢者の見守りや地域活動等へ参画するなど、高齢者の安心な暮らしを支えるとともに学生が社会経験をえられる取組を進めます。また、特に高齢化が進む市営住宅においては、空き住戸を活用し、地域が主体となって運営する「交流とたすけあいの拠点」の実現に向けて四日市市社会福祉協議会の協力のもと取り組みます。</p>
<p><b>【実施状況】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業実施中</span> ・ 未着手</p>
<p><b>【取組概要と成果】</b>          あさけが丘市営住宅に現在6名の学生が入居し、廃品回収や地域の見回り等を行っている。今年度は学生主体でお茶会などを開催し、コロナ禍で実施できなかった地域住民との交流を進めている。</p>
<p><b>【今後の取組方向】</b>          学生・地域住民との交流を進め、地域主体で高齢者を見守る等、安心して暮らせる環境づくりを図る。</p>
<p><b>【担当課】</b> 都市整備部市営住宅課</p>

## 【具体的施策】

### 2. 在宅医療を支える体制の強化と環境づくり

施策No.4-3-1	
在宅医療を支える体制の強化と環境づくり	
人生の最期を自宅で迎えたいという希望を叶えるため、課題解決に向けた体制構築、関係者の研修、相談支援など医療・介護の連携強化に取り組み、在宅医療を支える体制の強化と環境づくりを進めます。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
訪問看護師、介護・看護施設職員への支援については、対面及びZoomにて研修を実施することで、就業促進、定着、スキルアップを図った。 また、ケアマネジャーに対し、適切なケアプランの策定のため、いつでも医療的基礎知識を習得できるようYouTubeを活用した研修を行ったことで、ケアマネジャーの質の向上に寄与した。 さらに、身近な地域での市民企画の在宅医療に関する講演会を支援することで、市民への在宅医療の普及啓発を図るとともに、四日市市在宅医療・介護連携支援センターにおいて、医療・介護関係者から相談を受け付け、在宅医療の円滑な推進及び医療・介護関係者の相互理解の促進を図った。	
【今後の取組方向】	訪問看護師、介護・看護施設職員への支援、ケアマネジャーの医療的な知識の向上、在宅医療の後方支援体制の整備など、医療・介護連携に関する支援の充実に努める。また、市民が「もしも」の時に医療・介護サービスが適切に選択できるよう、在宅医療の周知・啓発に努める。
【担当課】	健康福祉部保健企画課

## 【具体的施策】

### 3. 認知症の人にやさしいまちづくりの推進

施策No.4-4-1	
認知症の人を見守り支援する認知症サポーター、認知症フレンズの養成	
認知症に関する地域の理解を深めるため、認知症地域支援推進員が中心となり、啓発事業を実施するとともに、認知症の人を見守り支援する認知症サポーター、認知症フレンズの養成に取り組みます。	
【実施状況】	事業実施中 ・ 未着手
【取組概要と成果】	認知症地域推進員を中心に、学校や各種機関・団体へ働きかけを行いながら、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する正しい知識の普及を図った。さらに、認知症の人や家族を支援する認知症フレンズの育成を進めた。
【今後の取組方向】	令和4年8月に「四日市市認知症フレンドリー宣言」を行い、オール四日市で認知症フレンドリーなまちづくりに取り組む姿勢を示したことも踏まえ、認知症サポーター養成講座や啓発イベントをより積極的に開催し、認知症に関する地域の理解促進に努める。

また、令和5年度に開設する介護予防等拠点施設に、新たに認知症地域推進員を配置するとともに、同施設を認知症サポーターや認知症フレンズの活動の拠点とし、更なる養成や活動の活性化に努める。

【担当課】 健康福祉部高齢福祉課

#### 施策No.4-4-2

##### 認知症の早期発見・早期対応

認知症の早期発見・早期対応のため、専門職による相談の場を提供、認知症初期集中支援チームによる支援や医療機関との連携を強化するとともに、自己診断ツールの活用、受診にかかる費用負担軽減策を導入します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

##### 【取組概要と成果】

医療機関へ認知症初期集中支援チームの周知を行うとともに、令和4年10月からは認知症早期診断事業（もの忘れ検診）を開始し、認知症の早期発見・早期対応体制の拡充を図った。

##### 【今後の取組方向】

認知症早期診断事業について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、十分な活用ができなかったが、コロナ禍が落ち着きを見せてきている中、「認知症の気づきチェックリスト」を全戸配布するなど、あらためて事業の周知を進め、早期発見・早期対応の推進に努める。

【担当課】 健康福祉部高齢福祉課

#### 施策No.4-4-3

##### 行方不明者を早期発見する認知症高齢者等SOSメール登録者の拡大、認知症カフェの拡充

市民や事業者等と連携したまちづくりを進めるため、行方不明者を早期発見する認知症高齢者等SOSメール登録者の拡大や、認知症の人の社会参加や家族の負担軽減等に有効な認知症カフェを拡充します。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

##### 【取組概要と成果】

「認知症高齢者等SOSメール」の周知を行い、市民・企業に対しても積極的に啓発を進めた。また、認知症カフェの拡充にも努め、参加者数も増加しつつある。

##### 【今後の取組方向】

「認知症高齢者等SOSメール」の周知を行い、メール登録者数を増やすとともに、地域での見守り体制の強化に努める。また、更なる認知症カフェの拡充や周知を行い、実施箇所数、利用者数を増やす。

【担当課】 健康福祉部高齢福祉課

**施策No.4-4-4**

**認知症者家族の負担軽減**

家族等の負担軽減のため、認知症高齢者等の見守りに資するICTを活用した行方不明高齢者等探索機能を導入するほか、認知症の人が事故等で賠償責任を負った場合の補償を行う個人賠償責任保険加入などの仕組みづくりに取り組みます。

【実施状況】 事業実施中 ・ 未着手

**【取組概要と成果】**

「安心おかえりシール交付事業」、「あんしんGPS給付事業」などICTを活用した見守りのしくみを整備するとともに、認知症の人が賠償責任を負った場合に補償を行い、認知症家族の負担軽減を図った。

**【今後の取組方向】**

認知症高齢者等の見守りに資する「安心おかえりシール交付事業」、「あんしんGPS給付事業」及び「あんしん保険事業」を広く周知し、利用の促進に努める。

【担当課】 健康福祉部高齢福祉課

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度末)	達成率
住民主体サービス利用者数	437人 (平成30年度)	777人	700人	111%
訪問看護サービス利用人数	888人 (平成30年度)	1,101人	1,070人	102.9%
認知症サポーターの人数	24,584人 (平成30年度)	30,228人	36,000人	84.0%